

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	国際研究集会研究員の派遣		事業開始年度	昭和46年度		作成責任者
担当部局庁	科学技術・学術政策局		担当課室	国際交流官付		国際交流官 匂坂克久
会計区分	一般会計		上位政策	科学技術の国際活動の戦略的推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計 画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月28日)		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	海外で開催される、わが国の政策の必要上情報を収集する必要がある科学技術・学術分野の国際研究集会に、戦略的に大学等研究機関の優れた研究者を派遣することにより、科学技術・学術分野の国際交流及び我が国における科学技術・学術の振興を図ることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	海外で開催される科学技術・学術分野の国際研究集会に、国の政策の必要上、戦略的に大学等研究機関の優れた研究者を派遣することにより、科学技術・学術分野の国際交流及び我が国における科学技術・学術の振興を図ることを目的とする。					
実施状況	平成21年度は、日米免疫部門会議、南極条約協議国会議、地球観測に関する政府間会合等7件の国際研究集会に16名の研究者を派遣した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	18	18	15	16	—
	執行額	18	17	14		
	執行率	99.4%	94.4%	91.4%		
	総事業費(執行ベース)	18	17	14		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	旅費を支給する研究者に対して、旅費法に基づく必要書類のほか、計画書及び報告書の提出を義務付けており、計画書により出張の概要、文部科学省施策との関係、研究者の派遣で得られる効果を、報告書により出張の概要と結果を把握している。				
	見直しの 余地	引き続きより廉価な航空券購入の工夫等により効率化に努め、適切な旅費の執行を行う。				
予算 監 ム 視 の ・ 所 効 見 率 化	1. 事業評価の観点:この事業は、科学技術・学術分野の国際研究集会に大学等研究機関の優れた研究者を派遣する長期継続事業である。 2. 所見:20年以上続く長期継続事業であり、現行のままの一つの事業として存続しなければならない特段の必要性が認められないことから、いったん廃止し整理統合すべきである。その際、特に外国関係旅費に係る積算を見直し、予算を縮減すべきである。					
補 記						

【A】

文部科学省
(14百万円)

在外研究員等旅費 14百万円

国際的に権威のある団体又は学術研究機関が主催し、海外で開催される国際研究集会に、招待講演若しくは研究発表を行うこと又は座長になること等重要な役割果たす大学等研究機関の優れた研究者を戦略的に派遣する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
在外研究員 等旅費	国際研究集会へ研究者を派遣する ための旅費	14			
計		14	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。使途
 と費目の双方で
 実情が分かるよ
 うに記載)